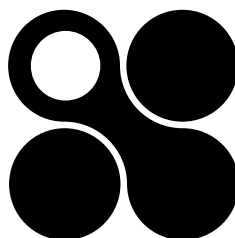


## < 政 策 提 言 >

和歌山発、NPO新時代。

～元気わかやま市への諸施策の実現に向けて～



特定非営利活動法人  
わかやまNPO  
センター

## 和歌山市NPO施策の大きな進展

大橋市政のもと、和歌山市では、NPO・ボランティア団体の拠点となるNPO・ボランティアサロンの充実が図られ、また、NPO・ボランティアフェスタの継続的な開催、和歌山市NPO・ボランティア推進課の設置、市民の底力事業の開始など、積極的なNPO推進施策を実施されてきました。また、本年度は、「市民活動グループと行政との協働の指針策定委員会」も立ち上げるなど、これまでのNPO育成・支援施策への積極的な取り組みについては、高く評価したいと思います。

## ピンチをチャンスへ - NPOの専門性発揮 -

さて、和歌山市においては、地域振興、防災対策、観光、子育て支援、高齢者・障がい者支援など、市政の重要なテーマがある一方で、財政は非常に厳しい状況にあります。そのような中で、上記の課題に対処していかなければならないわけですが、この“ピンチ”はある意味で“チャンス”として捉えることができるかと思えます。

現在、和歌山市には、これらの重要な課題を解決する専門性と実績を有するNPOが多く育ちつつあります。「元気わかやま市」を創り出すためには、また、ピンチをチャンスに変えていくためには、行政に対し、専門性を有する多様なNPOの積極的な参画が求められるべき時期にきていると考えます。

私たちわかやまNPOセンターでは、和歌山市内外のNPO・ボランティア等の声を聞く中で、今後の和歌山市の発展において、NPOの専門性とネットワークを最大限発揮させるためには、下記の施策に力を入れていただく必要があると考えております。是非ともご検討いただきますようお願いいたします。

### 1、市民グループと行政の協働の推進

和歌山市では、今年度、「市民活動グループと行政との協働の指針策定委員会」が立ち上がりました。これはNPO・ボランティア・市民活動団体にとって大きな一歩になるものと期待しております。また、平成17年度から市民グループと行政との協働の仕組みづくりの一環として実施されている「わかやまの底力・市民提案実施事業」によって、市内のNPO・ボランティア・市民活動団体への活動支援環境が整えられてきました。平成20年度当初予算編成方針において、わかやまの底力・市民提案実施事業が、「重点施策と69の取り組み」の中に位置付けられたことも高く評価されます。

1-1 今後の「わかやまの底力・市民提案実施事業」について、これを住み良い豊かなまちを創り地域振興につながる重要政策と位置付け、積極的な予算の拡充を提案いたします。

1-2 市民グループと行政の協働の具体的な仕組みづくりや、NPO等の育成・支援の

環境づくりに向けて、「市民グループと行政の協働を推し進める条例（仮称）」の制定を提案いたします。

## **2、NPO拠点の充実発展**

和歌山市のNPO・ボランティア活動支援の拠点施設として、「和歌山市NPO・ボランティアサロン」（寄合町）があります。この拠点があることで、NPO・ボランティア・市民活動団体はそれぞれの事業を企画したり、講座開催などを展開することができ、活動の大きな原動力になっています。また、「NPO・ボランティア交流会」を開催するなど、交流の場としても一定の成果をあげています。

2 - 1 「和歌山市NPO・ボランティアサロン」のより一層の充実（スペースの拡充を含む）と専門的人材の拡充を提案いたします。

2 - 2 NPO・ボランティアに関わる人材の育成、事業運営に関する講座を開くなど、ソフト面での事業を市主催の事業として実施されることを提案いたします。

2 - 3 現在のNPO・ボランティアサロンを中心市街地などの多くの市民が行き交う場所で、気軽に出入りができるような場、例えば「フォルテWAJIMA」等への移転を提案いたします。

## **3、定期的な情報交流会**

NPO・ボランティアなどが関わる分野は、いまや市政全般に及んでいます。「市民主体で地域を担える体制」を作るためには、あらゆる場面で市民、行政、NPO・ボランティア団体、企業、大学などとの協力・連携が必要となってきます。市民とこれら各セクターが交流することで、互いに顔の見える関係が形成され、人的ネットワークが強化され、ひいては幅広い主体で地域を担える体制づくりが可能となります。

3 - 1 市民とこれら各セクターが定期的に集まり、協力・連携し、和歌山市の将来について議論し情報交換ができる「市民活動団体連絡協議会（仮称）」の設置を提案いたします。